



## 「瀬」大切にしよう



今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に年の瀬を感じるようになりました。ふと気になって、「瀬」という漢字の意味について辞書で調べてみると、浅瀬のような、歩いて渡れるくらい川が浅いところや、早瀬のように水流の急なところ、点・節と記されていました。「年の瀬」の場合、一つの年から次の年へのバトンタッチの点ととらえることができるのではないのでしょうか。

6年生の子どもたちにとっては、小学生から中学生になる、大きな節目の年を迎えることとなります。計画性は、無駄を省きます。宿題をする場合でも、締め切りの直前になって、あたふたと取り組むのでは、どうしても「やつつけ仕事」になりがちです。予め、計画的にこなしていける人は、余裕をもって完成させ、最後に見直し、さらに改善することが可能です。ビジネスの世界では、「段どり八分」と言われますが、仕事の段取りをきちんとしておけば、その仕事は、8割方完了したも同然であるという意味です。そして、「最高の仕上がり」をイメージしてから、スタートした方が、実現する可能性が高くなることは言うまでもありません。事前の用意周到さが、事の成就・不成就を決めるのです。

今年1年を、しっかりと振り返り、自分を見つめなおすことによって、小学校生活の集大成となるような3学期につなげていきたいと思えます。ご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

### 12月の生活目標

1年のしめくり、すみずみまできれいに清掃しよう。

1年のしめくりとして、学校も自分の心の中もすっきりとさせ、新しい年にそなえましょう。また、25日からの冬休みに備え、身の回りの整理整頓も少しずつ行い、1月9日の始業式を気持ちよく迎えらるるようしていきたいです。

### 平和の尊さについて考えた1日～広島平和学習～

11月22日(水)広島平和学習に行きました。広島平和資料館や本川小学校平和資料館の見学を通して、一人一人が平和の尊さについて真剣に考えました。中でも、被爆体験者の講話が、子どもたちの心に、強く響きました。

お話の中に、次のような言葉がありました。

「あなたたちが、当たり前のようにできていることが、何一つできなかった。そして、残念ながら、今も世界中で戦争がある。けれども、絶望しても、何も生まれない。世界で唯一の被爆国である日本は、核兵器の愚かさや平和の尊さを伝え続けなくてはならない。言葉には力がある。大切なことは、言葉で伝えていかなければならない。」

この言葉を一人ひとりがしっかりと受け止めて、人類の愚かさや戦争の悲惨さを感じ、平和な世界に対する考えをしっかりと持ってほしいと思えます。

### 人権集会に向けて

11月は、「強めよう絆」月間でした。6年生は、人権について正しく認識し、差別や偏見の不合理に気づき、解決に立ち向かおうとする姿をめざして学習に取り組んできました。

今後も、実践的行動力につなげていきたいと思えます。